

日中同形語の学習における母語の影響について  
—日本人の中国語学習者を対象として—

The Influence of the Mother tongue on the Learning process of Japanese  
and Chinese Homographs:  
On Japanese Speakers Learning Chinese

何龍

He Long

## 1. はじめに

中国語には日中同形語が数多く存在している。一見、日中同形語は日本人の中国語学習者にとって非常に簡単だと考えられがちである。しかし、何（2013）の研究によって、日中同形語の学習は日本人にとって難しいことが判明され、その理由は母語の影響にあると指摘された。

本研究では、何（2013）の研究と比べ、新たに「日本語独自義」「中国語独自義」と「共有義」の分類法を取り入れて、「日中同形語の学習における母語の影響」をより深く検討しようとする。

## 2. 先行研究

### 2.1. 日中同形語の分類法（その1）

文化庁（1978）からは「中国語と対応する漢語」という本が出版された。その中で、日中同形語は以下の4種類に分類されている。

「S」：日中両国語における意味が同じか、または、きわめて近いもの。

「O」：日中両国語における意味が一部重なっているが、両者の間にずれのあるもの。

「D」：日中両国語における意味が著しく異なるもの。

「N」：日本語の漢語と同じ漢字語が中国語に存在しないもの。

本研究の研究内容は日中同形語の学習にしばられているため、上記の「N」を本研究の研究対象から外すことにする。

### 2.2. 日中同形語の分類法（その2）

文化庁（1978）の分類に基づき、李（2006）が日中同形語のさらなる詳しい分類を試みた。その結果、以下の五つのタイプが得られた。

**タイプ1** 日本語と中国語の意味がほぼ同じであるもの（以下 JC と表記する）。

**タイプ2** 日本語と中国語の意味が全く違うもの（以下 jc と表記する）。

**タイプ3** 中国語の意味範囲が日本語の意味範囲より広いもの（以下 Cj と表記する）。

**タイプ4** 日本語の意味範囲が中国語の意味範囲より広いもの（以下 Jc と表記する）。

**タイプ5** 日本語と中国語の意味は重なる部分もあり、異なる部分もあるもの（以下 jJc と表記する）。

### 2.3. 日中同形語の分類法（その3）

小森（2010）が「日本語と中国語の辞書において、同形語の意味の記述が一致していること」を「共有義」と定義した。また、小森（2010）は「同形語の意味記述が、一方の辞書にあって、他方ない場合、その意味記述」を「独自義」と定義した。さらに、小森（2010）は「中国語にはない意味で、中国語の知識が全く利用できない場合」を「日本語独自義」と定義し、「日本語にはない意味で、日本語の知識が全く利用できない場合」を「中国語独自義」と定義した。

### 2.4. 母語の影響の捉え方

奥野（2005）が「母語の影響」を「母語と目標言語の類似点及び相違点から、学習者の意識的・無意識的な判断により、目標言語の運用上や、習得の過程上に現れる影響のことであると定義した。

### 2.5. 学習と習得の捉え方

馮（1994）が「学習」を「意識的な学習活動」と定義し、「習得」を「母語の獲得のような無意識的な学習活動」と定義した。

本研究の目的は学生が教室環境での日中同形語の学習について検討するところにあるので、主として「学習」を用いる。

### 2.6. 日中同形語の学習における母語の影響に関する研究

日本人の中国語学習者が日中同形語を使用する際に母語の影響による誤用が頻繁に生じることは先行研究によって、指摘されている。その誤用はいかなるものかを検討するために、何（2013）が李（2006）の分類法を使って、5つのタイプのそれぞれの学習を検討した。その結果、以下の結論が出された。

1. タイプ1の学習は日本人の中国語学習者にとって学習しやすい。
2. タイプ2の学習は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすい。
3. タイプ3の学習は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくい。
4. タイプ4の学習は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくい。
5. タイプ5において、日本語の意味と中国語の意味が重なる部分（共有義）の学習は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいが、日本語の意味と中国語の意味が重なっていない部分（日本語独自義・中国語独自義）の学習は日本人の中国語学習者にとって学習しにくい。さらにタイプ5は5つのタイプの中で、最も学習しにくいタイプである。
6. そのほか、日本人の中国語学習者は日中同形語の学習において、母語の意味から影響を受けるだけでなく、連語形式、使い方、品詞性などからも影響を受ける。

### 2.7. 先行研究の問題点

先行研究を調べたところ、李（2006）の分類法を用いる研究は多く、小森（2010）の分類法を用いる研究も少なくない。しかし、李（2006）と小森（2010）の分類法を関連づける研究はあまり見当たらないのは残念である。

何（2013）の研究も李（2006）の分類法を用いるだけで、小森（2010）の分類法にあまり触れていなかった。本研究は李（2006）の分類法と小森（2010）の分類法の両方を用いて検討するものである。狙いは何（2013）の研究で説明できないことを検討することにある。

### 3. 本論

#### 3.1. 本研究の目的

本研究の目的は主に以下の3つである。

1. 日本人の中国語学習者が日中同形語を学習する際、各タイプの学習でどのような問題が起こりやすいか、その問題に同じ傾向があるか否かを検討する。
2. 日本人の中国語学習者が日中同形語を学習する際、どの意味範囲で問題が起こりやすいか、その問題に同じ傾向があるか否かを検討する。
3. 日中同形語の学習における問題点は、学習者の母語と関連があるか否か、あるなら、どんな関連があるかを明らかにし、問題を起こす原因について分析する。

#### 3.2. 本研究の仮説

##### 3.2.1. 予想

李（2006）及び小森（2010）の分類法によって分類されたそれぞれのタイプと意味範囲の日中同形語の学習を考える際、以下のことが予想できる。

- 予想1：**日本人の中国語学習者はJCを学習する際、母語から正の影響を受けられるので、この部分の学習はそれほど難しくないと予想される。
- 予想2：**日本人の中国語学習者はjcを学習する際、母語から負の影響を受けやすいと思われるが、実際母語との違いに気づきやすいので、問題発見はしやすい。よって、jcの学習はそれほど難しくないと予想される。
- 予想3：**Cjの中国語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しにくいと予想される。なぜなら、母語にない意味を新たに覚えなければならないからである。一方、Cjの共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいと予想される。なぜなら、母語の意味と同じで、母語から正の影響を受けられるからである。
- 予想4：**Jcの日本語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しにくいと予想される。なぜなら、母語から負の影響を受けるからである。一方、Jcの共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいと予想される。なぜなら、母語の意味と同じで、母語から正の影響を受けられるからである。
- 予想5：**jJcCの共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいと予想される。なぜなら、母語の意味と同じで、母語から正の影響を受けられるからである。jJcCの中国語独自義の部分と日本語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しにくいと予想される。なぜなら、

前者は母語にない意味を新たに覚えなければならないし、後者は母語から負の影響を受けるからである。そして、jJcC は日本人の中国語学習者にとって最も学習しにくいタイプだと予想される。なぜなら、jJcC には共有義の部分、中国語独自義の部分と日本語独自義の部分が同時に存在しているため、日本人の中国語学習者は混乱しやすいからである。

### 3.2.2. 仮説

以上の予想に基づいて、以下の仮説を立てることとする。

**仮説 1:** Jc は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいだろう。

**仮説 2:** jc は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいだろう。

**仮説 3:** Cj の中国語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくいだが、共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいだろう。

**仮説 4:** Jc の日本語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくいだが、共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいだろう。

**仮説 5:** jJcC の共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいが、中国語独自義と日本語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくいだろう。

### 3.3. 研究方法

本研究では質問紙による調査法を用いた。日本の A 大学で調査用の質問紙を配って、その場で回答してもらい、その場で回収した。

### 3.4. 研究対象

A 大学で中国語を学習する日本人を研究の対象とした。日本 A 大学の中国語専攻の学生で、計 83 名（男性 7 名、女性 76 名）である。その内 2 年生は 57 名（男性 5 名、女性 52 名）で、3 年生は 26 名（男性 2 名、女性 24 名）である。

### 3.5. 質問紙の構成

質問紙はフェースシート部分と質問部分の 2 つ部分から構成される。前者は研究対象の基本情報を把握するためのものであり、後者は日中同形語の学習においてどのようなエラーが出るかを検討するためのものである。回答方法はそれぞれの設問に 3 つずつの選択肢を設け、その 3 つの選択肢から最もふさわしいものを選んでもらうことである。

設問に使われた日中同形語は現代日本語と中国語の常用語彙の主流である 2 文字漢語の中から抽出されたもので、計 20 個である。その 20 個の日中同形語は 5 つのタイプからそれぞれ 4 つずつ選出されたものである。ここで断っておきたいのは繁体字であろうと簡体字であろうと、元が同じであれば同形語とすることである。本研究では品詞性を名詞と動詞に限定した。原因は 2 つあり、1 つは名詞と動詞が数多く存在しているからで、もう 1 つはよく使われているからである。

本研究の質問紙に使う2文字の日中同形語は基本的に「広辞苑（第六版）」「現代漢語大辞典（第六版）」と「HSK試験の出題基準」を参考にして選出されたもので、内容は以下である。

- JC** 日本語と中国語の意味がほぼ同じであるもの。  
 口语 散歩 录音 努力
- jc** 日本語と中国語の意味が全く違うもの。  
 结束 看病 新闻 学长
- Cj** 中国語の意味範囲が日本語の意味範囲より広いもの。  
 坚持 检查 说明 算数
- Jc** 日本語の意味範囲が中国語の意味範囲より広いもの。  
 期间 天气 信用 专攻
- jJcC** 日本語と中国語の意味は重なる部分もあり、異なる部分もあるもの。  
 保证 感觉 品质 成绩

質問紙のフェースシートの部分では7問を設け、質問の部分では44問を設けた。日中同形語のあらゆる意味範囲を検討するために、設問を作る時以下のことを考慮した。

JCにおいては、1つの日中同形語に対して共有義の2問を設けた。jcにおいては、1つの日中同形語に対して日本語独自義と中国語独自義を1問ずつ設けた。日中同形語Cjにおいては、1つの日中同形語に対して共有義と中国語独自義を1問ずつ設けた。Jcにおいては、1つの日中同形語に対して共有義と日本語独自義を1問ずつ設けた。jJcCにおいては、1つの日中同形語に対して共有義、日本語独自義と中国語独自義を1問ずつ設けた。

質問紙の設問は曹（2006）の「日中常用同形語用法作文辞典」と磯部（2011）の「日中同形異義語」の例文を参照に作られた。設問が中国語として自然かどうかを2名の中国人に見てもらった。

## 4. 結果と考察

### 4.1. 調査の結果

仮説を吟味するために、タイプ毎の正解率の平均値を比較した。その結果を表1に示した。共は共有義を、中独は中国語独自義を、日独は日本語独自義を示している。以下は同様である。

表1の結果から、以下のことが分かる。

- ① JCの共有義の部分の正解率は高かったので、JCは日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けた結果だと考えられる。よって、本論で立てた仮説1は一応支持された。

表1 タイプ毎の正解率の平均値

タイプ	平均値 (%)	
Jc	共	74.78
jc	日独	47.80
	中独	43.39
Cj	中独	42.86
	共	51.45
Jc	日独	56.96
	共	54.46
jJc	日独	28.20
	中独	29.82
	共	70.18

- ② jcにおいては、日本語独自義の部分の正解率も中国語独自義の部分の正解率も高くなかったため、jcは日本人の中国語学習者にとって学習しにくいことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けた結果だと考えられる。よって、本論で立てた仮説2は支持されたとはいいがたい。
- ③ Cjの共有義の部分の正解率は低くなかったため、Cjの共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが分かった。これは恐らく中国語の意味と日本語の意味が重なる部分を学習する時、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けた結果だと考えられる。さらに、Cjの共有義の部分の正解率は中国語独自義の部分の正解率より高かったため、Cjの中国語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくいことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者が母語（日本語）にはない意味を新たに学習しなければならないからだと考えられる。よって本論で立てた仮説3は一応支持された。
- ④ Jcの共有義の部分の正解率は低くなかったため、Jcの共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが分かった。これは恐らく中国語の意味と日本語の意味が重なる部分を学習する時、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けた結果だと考えられる。しかし、Jcの共有義の部分の正解率は日本語独自義の部分の正解率より低かったため、Jcの日本語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は、Jcの日本語独自義の部分を学習する時、母語（日本語）との違いに気づきやすく、

問題発見をしやすいからだと考えられる。よって、本論で立てた仮説 4 は支持されなかった。

- ⑤ jJcC の共有義の部分の正解率は高かったので、jJcC は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けた結果だと考えられる。一方、jJcC の中国語独自義の部分と日本語独自義の部分の正解率は共有義の部分の正解率より低かったので、jJcC の中国語独自義の部分と日本語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しにくいことが分かった。しかも、両方の正解率はとても低いことから、この 2 つの部分の学習は日本人の中国語学習者にとってとても難しいことが分かった。よって、本論で立てた仮説 5 は支持された。

## 4.2. 学年ごとの調査結果

以上、日本人の中国語学習者の全体の正解率の平均値に基づいて、仮説の妥当性を検討してみた。全体の正解率の平均値で見ると、本論で立てた仮説 1、仮説 3 と仮説 5 は支持され、仮説 2 と仮説 4 は支持されなかった。その原因を探るために学年を分けてタイプ毎の結果を検討することにした。

### 4.2.1. JC の結果分析

学年毎の選択率を表 2 にまとめた（次のページの表 2 を参照。正解率を表す数字に網線をかけた。以下も同様である）。

表 2 を見ると、設問 41 では、2 年生の正解率も 3 年生の正解率も低いことが分かった。これは恐らく選択肢の“英語”と関連があると考えられる。設問 41 の“学习外语, ( ) 十分重要。”の括弧の中に“口语”はもちろん、“英語”は入っても完全に間違っているとは言いがたい。つまり、“英語”と“口语”のどちらも正解になりうるので、設問 41 を検討の対象としないことにする。

設問 37 では、2 年生の正解率も 3 年生の正解率も低いことが分かった。これは恐らく選択肢の“记录”と関連があると考えられる。「デジタル大辞泉」を調べたところ「記録」も「録音」も名詞として使われ、「録音」は「再生を目的として音声・音楽・音響などをテープ・レコードなどに記録すること。また、その音」という意味で、「記録」は「将来のために物事を書きしるしておくこと。また、その書いたもの。現在では、文字に限らず、映像や音声、それらのデジタルデータも含む」である。日本語の「記録」も「録音」も「音声による記録」の意味が含まれているが、中国語では“记录”が音声による記録としてあまり使われない。設問 37 では、動詞の“听”があるので、その後に来るのは音声による名詞である。2 年生と 3 年生の“记录”を選らんだ割合はそれぞれ 49.12% と 50.00% であるので、両方とも日本語の「記録」の持っている「音声による記録」の意味から影響を受けた可能性がある。それが原因で、正解率は低くなったと思われる。

表2 JCにおける各設問の選択率

同形語	意味範囲	設問番号	質問項目	学年	A	B	C	無
口語	共	6	让我们一起做汉语的( )练习。 A 口语 B 英语 C 主语	2年	94.74	3.51	1.75	0.00
				3年	100.0	0.00	0.00	0.00
	共	41	学习外语,( )十分重要。 A 英语 B 主语 C 口语	2年	28.07	21.05	50.88	0.00
				3年	34.62	15.38	50.00	0.00
散歩	共	7	爷爷每天都去( )。 A 散步 B 闲步 C 散步	2年	1.75	5.26	92.98	0.00
				3年	0.00	0.00	100.0	0.00
	共	13	公园里有很多人在( )。 A 散步 B 闲步 C 散心	2年	75.44	19.30	5.26	0.00
				3年	76.92	15.38	7.69	0.00
录音	共	9	请听( ), 选择正确答案。 A 录像 B 录音 C 记录	2年	3.51	82.46	14.04	0.00
				3年	3.85	76.92	15.38	0.00
	共	37	我能听一下课文的( )吗? A 录音 B 记录 C 录像	2年	38.60	49.12	12.28	0.00
				3年	46.15	50.00	3.85	0.00
努力	共	2	他学习非常( )。 A 加油 B 奋斗 C 努力	2年	5.26	8.77	85.96	0.00
				3年	7.69	3.85	88.46	0.00
	共	10	大家( )的结果, 我们得了第一名。 A 奋斗 B 努力 C 加油	2年	12.28	77.19	10.53	0.00
				3年	7.69	80.77	11.54	0.00

ところで、日本人の中国語学習者の JC の正解率は設問 37 を除いてどの学年も高いことが分かった。この結果から、JC の学習は日本人の中国語学習者にとって非常に簡単だと分かった。さらに、設問 6 と設問 7 を見ると、中国語が上級者レベルの 3 年生の正解率は 100% に達したことが分かった。これは中国語の上級者レベルの 3 年生が JC を母語レベルに使えるようになったと結論づけてもいいと思われる。

日本人の中国語学習者の JC の正解率はどの学年も高かった結果から、日本人の中国語学習者にとって JC の学習は極めて簡単であることが判明された。よって、JC の学習においては、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けることが示唆され、本論で立てた仮説 1 は支持された。

#### 4.2.2. jc の結果分析

学年毎の選択率を表 3 にまとめた（表 3 を参照）。

表 3 を見ると、設問 11 と設問 15 では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は“结束”と“新闻”という中国語を 1 年生の時に、もう習ったことによる結果だと思われる。なぜこの質問の正解率がこれほど高かったかを A 大学の中国語先生に聞いたところ、「1 年生で習った。」との回答が得た。

表 3 jc における各設問の選択率

同形語	意味範囲	設問番号	質問項目	学年	A	B	C	無
結束	中独	11	今天的课到此（ ）。 A 联合 B 停止 C 结束	2年	15.79	10.53	73.68	0.00
				3年	26.92	3.85	61.54	0.00
	日独	27	让我们（ ）起来。 A 结束 B 停止 C 联合	2年	49.12	10.53	40.35	0.00
				3年	26.92	23.08	50.00	7.69
看病	中独	28	医院里（ ）的人很多。 A 照顾 B 看病 C 看护	2年	7.02	52.63	40.35	0.00
				3年	11.54	42.31	46.15	0.00
	日独	12	我生病了，妈妈（ ）我。 A 看护 B 照顾 C 看病	2年	28.07	31.58	40.35	0.00
				3年	19.23	50.00	30.77	0.00
新闻	中独	15	最近有什么（ ）？ A 广告 B 新闻 C 报纸	2年	19.30	52.63	28.07	0.00
				3年	7.69	61.54	30.77	0.00
	日独	22	我家订了三份（ ）。 A 报纸 B 广告 C 新闻	2年	59.65	31.58	8.77	0.00
				3年	65.38	30.77	3.85	0.00
学长	中独	29	他是我的（ ），比我大一年级。 A 学长 B 校长 C 先辈	2年	15.79	0.00	84.21	0.00
				3年	11.54	3.85	84.62	0.00
	日独	16	这位是我们大学的（ ）。 A 校长 B 先辈 C 学长	2年	31.58	21.05	47.37	0.00
				3年	53.85	7.69	38.46	0.00

一方、設問 22 では、日本人の中国語学習者の正解率が高いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）との違いが気付くからだと考えられる。日本人の中国語学習者は日本語「新聞」の日本語独自義の意味と対応するのが中国語の“报纸”であることが気付き、“报纸”を選んだ可能性が高いと考えられる。それが原因で、正解率は高くなった。

ただし、日本人の中国語学習者の jc の正解率は設問 11、設問 15 と設問 22 を除いてどの学年も高くないことが分かった。この結果から、jc の学習は日本人の中国語学習者にとって困難だと分かった。なぜそのような現象が現れるのだろうか。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けるからだと考えられる。

例えば、設問 29 では、“学长”が中国語独自義（日本語の「先輩」と同じ意味）であるため、日本人の中国語学習者は母語から負の影響を受けて、母語と同じ意味の“先輩”を選んだ。実際、“先輩”の選択率は高く、2年生は 84.21%で、3年生は 84.62%であることから、このことが裏付けられる。よって、正解率は低くなった。

日本人の中国語学習者の jc の正解率ほどの学年も高くなかった結果から、jc の学習においては、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けることが示唆され、日本人の中国語学習者にとって jc の学習は簡単ではないことが判明された。よって、本論で立てた仮説 2 は支持されなかった。

## 4.2.3. Cjの結果分析

学年毎の選択率を表4にまとめた(表4を参照)。

表4 Cjにおける各設問の選択率

同形語	意味範囲	設問番号	質問項目	学年	A	B	C	無
坚持	中独	17	再走十公里, 你能( )吗? A 保持 B 维持 C 坚持	2年	14.04	15.79	68.42	1.75
				3年	19.23	0.00	80.77	0.00
	共	43	你应该( )自己的意见。 A 坚持 B 保持 C 维持	2年	42.11	42.11	15.79	0.00
				3年	34.62	42.31	23.08	0.00
检查	中独	8	他已经做了自我( )。 A 检测 B 测定 C 检查	2年	14.04	24.56	59.65	1.75
				3年	7.69	11.54	80.77	0.00
	共	18	明天我们要( )视力。 A 测定 B 检查 C 检测	2年	22.81	66.67	10.53	0.00
				3年	38.46	53.85	7.69	0.00
说明	中独	23	这次考试得了100分( )他很努力。 A 解释 B 表示 C 说明	2年	61.40	21.05	15.79	1.75
				3年	61.54	23.08	15.38	0.00
	共	36	请把刚才的情况( )一下。 A 表示 B 说明 C 解释	2年	15.79	68.42	14.04	1.75
				3年	11.54	53.85	34.62	0.00
算数	中独	24	他说话( )。 A 计算 B 算数 C 计数	2年	66.67	10.53	22.81	0.00
				3年	76.92	11.54	11.54	0.00
	共	40	我儿子( )的成绩最好。 A 算数 B 计算 C 计数	2年	42.11	36.84	21.05	0.00
				3年	50.00	34.62	15.38	0.00

表4を見ると、設問43では、日本人の中国語学習者の正解率は高くないことが分かった。これは恐らく選択肢の“保持”と“坚持”の意味がよく似ているからだと考えられる。「クラウン中日辞典」を調べたところ、“保持”は「状態やレベルをそのまま持ち続ける」という意味で、“坚持”「堅持する、持ち続ける」という意味である。“保持”も“坚持”も「持ち続ける」という意味を共有しているので、日本人の中国語学習者は“保持”を選んだのではないかと思われる。実際、“保持”の選択率は2年生は42.11%で、3年生は42.31%であった。それが原因で、正解率は低くなった。

ただし、同じ共有義に属する設問18、設問36と設問40では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者が母語(日本語)から正の影響を受けるからだと考えられる。設問18、設問36と設問40では、Cjの共有義の部分が使われているため、日本人の中国語学習者はこの部分を学習する時、母語(日本語)から正の影響を受けるので、正解率は高くなった。この結果から、Cjの共有義の部分の学習は日本人の中国語学習者にとって難しくないことが分かった。

一方、設問17と設問8では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく“坚持”と“检查”の習熟度と関連があると考えられる。日本人の中国語学習

者の教科書を調べた結果、“坚持”と“检查”は新しい単語として教科書に載せたのは2年生前期であることが分かった。つまり、11月上旬の調査実施の時点では、2年生も3年生もすでに“坚持”と“检查”を学んだ状態である。それが原因で、2年生も3年生も“坚持”と“检查”を選らんだと考えられる。よって、正解率は高くなった。

しかし、同じ中国語独自義に属する設問23と設問24では、日本人の中国語学習者の正解率は低いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者が母語（日本語）から負の影響を受けるからだと考えられる。設問23と設問24では、Cjの中国語独自義の部分が使われているため、日本人の中国語学習者が母語（日本語）にない意味を新たに学習しなければならない。それが原因で、正解率は低くなった。この結果から、Cjの中国語独自義の部分の学習は日本人の中国語学習者にとって難しいことが分かった。

分析の結果から、Cjの共有義の部分の学習においては、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けることが示唆され、Cjの共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことは判明された。さらに、Cjの中国語独自義の部分の学習においては、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けることが示唆され、Cjの中国語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しにくいことも判明された。よって、本論で立てた仮説3は支持されたと言える。

#### 4.2.4. Jcの結果分析

学年毎の選択率を表5にまとめた（次ページの表5を参照）。

表5を見ると、設問1と設問4では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく選択肢の習熟度と関連があると考えられる。日本人の中国語学習者の教科書を調べた結果、調査実施の時点では、2年生も3年生もすでに“相信”と“专业”を学んだが、“专攻”と“信用”をまだ学んでいなかった。それが原因で、2年生も3年生も“相信”と“专业”を選んだ可能性が高いと考えられる。それが原因で、正解率は高くなった。一方、設問31と設問30では、日本人の中国語学習者の正解率は低いことが分かった。“相信”と“专业”は設問4と設問1では、正解となるため、設問31と設問30では、間違っただけの判断をしたのではないかと考えられる。よって、正解率は低くなった。

ただし、同じ共有義の部分に属する設問35と設問44では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けるからと考えられる。設問35と設問44では、Jcの共有義が使われているため、日本人の中国語学習者はこの部分を学習する時、母語（日本語）から正の影響を受けるので、正解率は高くなった。この結果から、Jcの共有義の部分の学習は日本人の中国語学習者にとって難しくないことが分かった。

一方、設問26では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これも恐らく選択肢の習熟度と関連があると考えられる。調べたところ、A大学では“晴天”を1年生の時にもう習ったことが分かった。日本人の中国語学習者は“晴天”の意味をすっかり覚えている可能性が高いので、正解率は高くなった。

表5 Jcにおける各設問の選択率

同形語	意味範囲	設問番号	質問項目	学年	A	B	C	無
期間	日独	25	保存( )为两个月。 A 期间 B 期限 C 时间	2年	57.89	33.33	8.77	0.00
				3年	57.69	42.31	0.00	0.00
	共	35	留学( ), 我去了很多地方。 A 期限 B 期间 C 时间	2年	3.51	73.68	22.81	0.00
				3年	0.00	80.77	19.23	0.00
天气	日独	26	今天是( ), 我们出去玩儿吧。 A 天气 B 晴天 C 阴天	2年	3.51	89.47	7.02	0.00
				3年	0.00	96.15	3.85	0.00
	共	44	这几天( )不错。 A 阴天 B 晴天 C 天气	2年	12.28	19.30	68.42	0.00
				3年	3.85	0.00	96.15	0.00
信用	日独	4	他说的话不能( )。 A 信任 B 相信 C 信用	2年	10.53	64.91	24.56	0.00
				3年	15.38	61.54	23.08	0.00
	共	31	他是一个有( )的人。 A 信用 B 相信 C 信任	2年	21.05	50.88	26.32	1.75
				3年	19.23	57.69	23.08	0.00
专攻	日独	1	你的( )是什么? A 专攻 B 专业 C 专门	2年	29.82	57.89	12.28	0.00
				3年	15.38	76.92	7.69	0.00
	共	30	他( )中国文学。 A 专门 B 专攻 C 专业	2年	14.04	45.61	38.60	1.75
				3年	23.08	30.77	46.15	0.00

ただし、同じ日本語独自義の部分に属する設問 25 では、日本人の中国語学習者の正解率は低いことが分かった。これは恐らく中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けているからだと考えられる。設問 25 では、日本語では“期間”を使うが、中国語では“时间”使うので、中国語学習者は母語（日本語）から負の影響受け、“期間”を選んだと考えられ、正解率が低いのはその原因によるものと思われる。

分析の結果から、Jc の共有義の部分の学習においては、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けることが示唆され、Jc の共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことは判明された。さらに、Jc の中国語独自義の部分の学習において、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けることも示唆された。

#### 4.2.5. jJcC の結果分析

学年毎の選択率を表 6 にまとめた（表 6 を参照）。

表 6 を見ると、設問 42 では、日本人の中国語学習者の正解率は低いことが分かった。これは恐らく選択肢は意味がよく似ているので、間違いを起しやすからだと考えられる。「クラウン中日辞典」による、中国語の“感觉”は「物事を感じ取る」という意味で、“感受”は「体験から得た考え」という意味で、“反应”は「刺激に応じて起る結果」という意味である。“感觉”の意味にも“感受”の意味にも“反应”の意味にも、「刺

表6 jJcCにおける各設問の選択率

同形語	意味範囲	設問番号	質問項目	学年	A	B	C	無
保証	日独	38	我的电脑是带( )的。 A 保证 B 确保 C 保修	2年	45.61	21.05	33.33	0.00
				3年	61.54	3.85	34.62	0.00
	中独	14	每天( )8小时的睡眠。 A 保修 B 保证 C 确保	2年	5.26	21.05	73.68	0.00
				3年	0.00	23.08	76.92	0.00
	共	21	我( )这个产品没问题。 A 确保 B 保修 C 保证	2年	12.28	10.53	77.19	0.00
				3年	7.69	7.69	84.62	0.00
感觉	日独	34	爷爷老了,( )迟顿了。 A 反应 B 感觉 C 感受	2年	29.82	29.82	40.35	0.00
				3年	30.77	38.46	30.77	0.00
	中独	20	我( )有点儿冷。 A 感觉 B 感受 C 反应	2年	70.18	28.07	1.75	0.00
				3年	69.23	26.92	3.85	0.00
	共	42	我的手没( )了。 A 感受 B 反应 C 感觉	2年	36.84	26.32	36.84	0.00
				3年	26.92	34.62	38.46	0.00
品质	日独	19	这个产品的( )很好。 A 性质 B 质量 C 品质	2年	8.77	26.32	64.91	0.00
				3年	19.23	30.77	50.00	0.00
	中独	32	他的( )很好。 A 质量 B 品质 C 性质	2年	14.04	15.79	70.18	0.00
				3年	11.54	11.54	76.92	0.00
	共	3	( )管理很重要。 A 性质 B 质量 C 品质	2年	8.77	38.60	52.63	0.00
				3年	0.00	19.23	80.77	0.00
成绩	日独	33	我们的营业( )是第一名。 A 总额 B 成绩 C 成果	2年	24.56	40.35	35.09	0.00
				3年	15.38	38.46	42.31	3.85
	中独	39	我们的工作有很大的( )。 A 成绩 B 总额 C 成果	2年	12.28	14.04	73.68	0.00
				3年	15.38	38.46	46.15	0.00
	共	5	他的( )很好。 A 成果 B 总额 C 成绩	2年	3.51	1.75	94.74	0.00
				3年	3.85	0.00	96.15	0.00

激を受ける」の意味が含まれているので、日本人の中国語学習者は混乱しやすいと考えられる。それが原因で、正解率は低くなったのではないと思われる。

ただし、同じ共有義の部分に属する設問 21、設問 3 と設問 5 では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けるからだと考えられる。設問 21、設問 3 と設問 5 では、jJcC の共有義が使われているため、日本人の中国語学習者はこの部分を学習する時、母語（日本語）から正の影響を受けるので、正解率は高くなった。この結果から、jJcC の共有義の部分の学習は日本人の中国語学習者にとって難しくないことが分かった。

一方、設問 38、設問 34、設問 19 と設問 33 では、日本人の中国語学習者の正解率は

低いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けるからだと考えられる。設問 38、設問 34、設問 19 と設問 33 では、jJcC の日本語独自義の部分が使われているため、日本人の中国語学習者はこの部分を学習する時、母語（日本語）から負の影響を受ける可能性がある。それが原因で、正解率は低くなったのだろう。この結果から、jJcC の日本語独自義の部分の学習は日本人の中国語学習者にとって難しいことが分かった。

表6を見ると、設問 20 では、日本人の中国語学習者の正解率は高いことが分かった。これは恐らく“感觉”の使用頻度と関連があると考えられる。日本人の中国語学習者の教科書を調べたところ、“感觉”は新しい単語として教科書に載せたのは2年前期であることが分かった。11月上旬の調査実施の時点では、2年生も3年生もすでに“感觉”を学んだ状態である。さらに“感觉”が本文にも練習問題にも頻繁的に使われることが分かった。日本人の中国語学習者は“感觉”の意味をしっかりと覚えている可能性が高いので、正解率は高くなった。

ところで、同じ中国語独自義の部分に属する設問 14、設問 32 と設問 39 では、日本人の中国語学習者の正解率は低いことが分かった。これは恐らく日本人の中国語学習者は母語（日本語）にない意味を新たに学習しなければならないからだと考えられる。それが原因で、日本人の中国語学習者は間違っ選択をし、正解率は低くなったと考えられる。この結果から、jJcC の中国語独自義の部分の学習は日本人の中国語学習者にとって難しいことが分かった。

分析の結果から、jJcC の共有義の部分の学習において、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から正の影響を受けることが示唆され、jJcC の共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが判明された。さらに、jJcC の中国語独自義の部分と日本語独自義の部分の学習において、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けることも示唆され、jJcC の中国語独自義の部分も日本語独自義の部分も日本人の中国語学習者にとって学習しにくいことも判明された。よって、本論で立てた仮説 5 は支持されたと言える。

## 5. まとめ

本研究では、日本人の中国語学習者は日中同形語の学習における母語の影響を中心に検討した。その結果、以下のことがまとめられる。

- ① JC の学習は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが判明された。これは日本人の中国語学習者が母語（日本語）の知識が活用でき、母語（日本語）から正の影響を受けるからだと分析した。
- ② jc の中国語独自義の部分も日本語独自義の部分も日本人の中国語学習者にとって学習しにくいことが判明された。前者は日本人の中国語学習者が母語（日本語）から負の影響を受けるからで、後者は日本人の中国語学習者が母語（日本語）にない意味を新たに学習しなければならないからだ

解釈した。

- ③ Cj の中国語独自義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しにくいことが判明された。これは日本人の中国語学習者は母語から負の影響を受け、母語（日本語）にない意味を新たに学習する必要があるからだとして解釈した。一方、Cj の共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいことが判明され、それは日本人の中国語学習者が母語（日本語）の知識が活用でき、母語（日本語）から正の影響を受けるからだとして分析した。
- ④ Jc の共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって比較的学習しやすいことが判明され、それは日本人の中国語学習者が母語（日本語）の知識が活用でき、母語（日本語）から正の影響を受けるからだとして解釈した。一方、Jc の日本語独自義部分においては、日本人の中国語学習者は母語（日本語）から負の影響を受けることが示唆された。
- ⑥ jJcC においては、共有義の部分は日本人の中国語学習者にとって学習しやすいことが判明され、それは日本人の中国語学習者が母語（日本語）から正の影響を受けるからだとして分析した。一方、日本語独自義の部分も中国語独自義の部分も日本人の中国語学習者にとって学習しにくいことが判明された。前者の原因は日本人の中国語学習者は母語（日本語）と対応する中国語を新たに学習する必要があることにあり、後者の原因は母語（日本語）にない意味を新たに学習する必要があることにありと説明した。

## 6. 今後の課題

今回の調査では、まだ説明できない問題点が残っているので、それを今後の研究課題として取り組んでいきたい。

- ① 今回の調査では、日本の A 大学の学生（83 人）を研究対象として研究したが、今後、さらに研究対象を増やして、検討していきたい。
- ② 今回の調査では、2 年生と 3 年生を研究対象として研究したため、学習年数と母語の影響の関連性はまだ判明されていない。今後これを研究課題として研究していきたい。
- ③ 今回の調査では、研究項目の 20 個の日中同形語は 5 つのタイプから 4 つずつ選出されたが、今後、もっと項目数を増やして、研究してみたい。
- ④ 今回の調査では、質問項目は 2 文字の動詞と名詞の日中同形語に限定して検討した。今後、ほかの品詞性の日中同形語も検討してみたい。
- ⑤ 今回の調査では、日中同形語の学習において学習者は母語の品詞性に影響を受けることが判明されたが、具体的にどのような影響を受けるかはまだ判明されていない。これも今後の研究課題として研究していきたい。
- ⑥ 今回の調査では、5 つの仮説の内、仮説 2 と仮説 4 は支持されなかった。

その原因についてもっと検討してみたい。

本研究は日中同形語に関する基礎研究の1つにすぎない。これからは、このような基礎研究を数多く実施することによって日中同形語に関する学習のメカニズムを明らかにしたい。

## 7. 引用文献

- 奥野由紀子 1978 『第二言語習得過程における言語転移の研究—日本語学習者による「の」の過剰使用を対象に—』 pp. 26-28.
- 何 龍 2013 「日中同形語の学習における母語の影響について—日本人の中国語学習者と中国人の日本語学習者を比較して—」
- 小森 和子 2010 『中国語を第一言語とする日本語学習者の同形語の認知処理』 p. 15.
- 馮 富榮 1999 「日本語学習における母語の影響—中国人を対象として—」 風間書房 pp. 2
- 文化庁 1978 「中国語と対応する漢語」 『早稲田大学語学教育研究所日本語科』 pp. 5-16.
- 李 愛華 2006 「中国人日本語学習者による漢語意味習得—日中同形語を対象に—」 『筑波大学地域研究』 第26号 p. 190.